

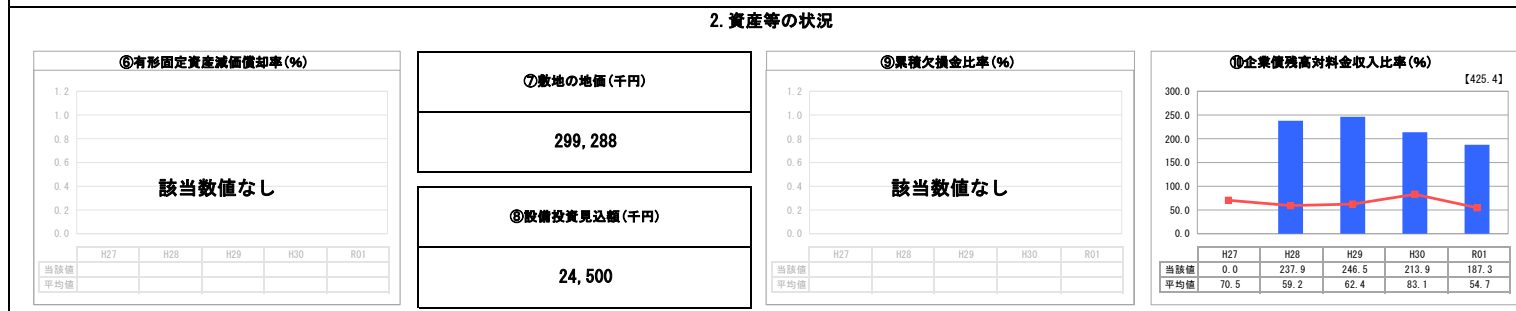
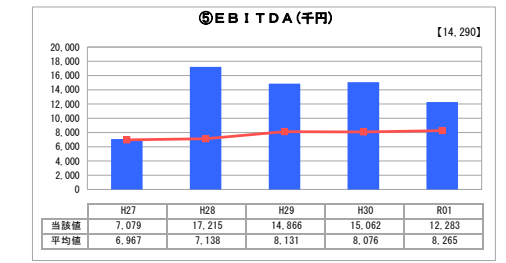
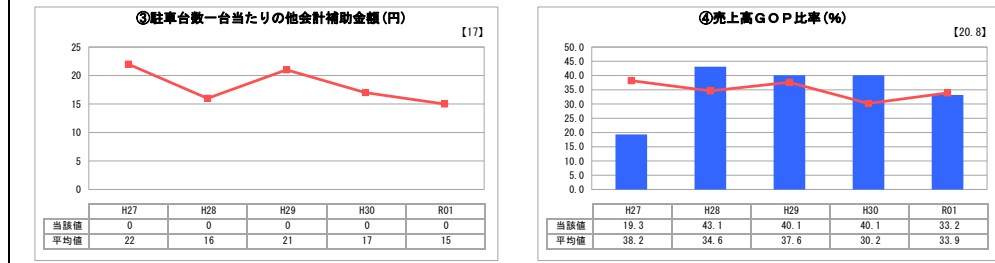
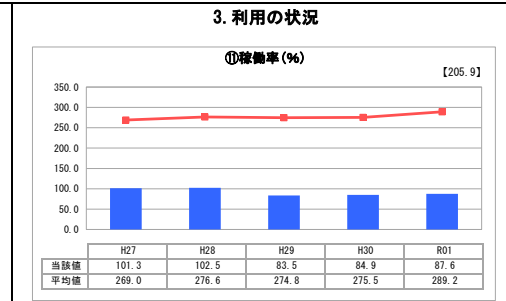
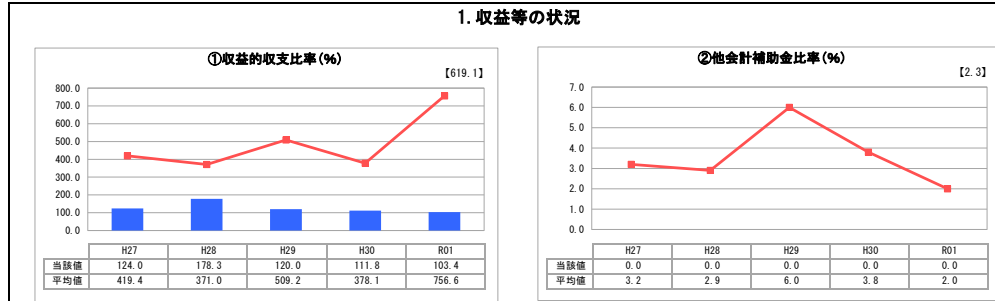
# 経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県瑞浪市 瑞浪市駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	15	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	10,200
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
370	25	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均



### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 『収益的収支比率』は、100%以上を維持していますが、平成29年度から地方債の元金償還が始まったため、平成28年度以降は減少しています。『売上高GOP』並びに『EBITDA』については、平成27年度から平成28年度にかけて駐車場管理機器の経費を抑制したため、数値が改善しています。  
 しかし、コロナ禍により、令和2年3月以降の収入が減少したため、『収益的収支比率』、『売上高GOP』並びに『EBITDA』は昨年度より数値が減少しています。  
 コロナ禍により収入が減少していることから、駐車場の維持管理経費等の削減に努めます。

**2. 資産等の状況について**  
 瑞浪駅周辺にて再開発が検討されており、駐車場の再整備も検討課題となります。  
 駐車場管理機器の整備にも費用がかかるため、駐車場の集約についても検討していく必要があります。

**3. 利用の状況について**  
 平成26年度に駐車場の料金改定を行い、2か所の市営駐車場の料金体系が統一されました。そのため、浪花駐車場の利用者が増加し、駅北駐車場の稼働率は減少しましたが、平成30年度から増加に転じています。  
 しかし、類似施設平均値と比較しても、その割合が低くなっており、利用者の増加につなげることが課題です。

**全体総括**  
 駅北駐車場は、平成27年度から平成29年度にかけて駐車場の拡張工事を行い、それに伴い、地方債の借入を行いました。令和9年度までは地方債の償還が発生するため、より効率的な運営を行う必要があります。  
 また、令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、使用料が減少しています。  
 コロナ禍で収入が減少しているため、経費の削減を図るなど、計画的かつ合理的な駐車場の運営に努めます。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

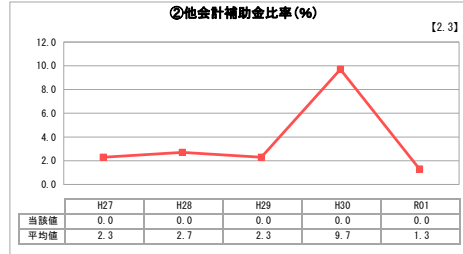
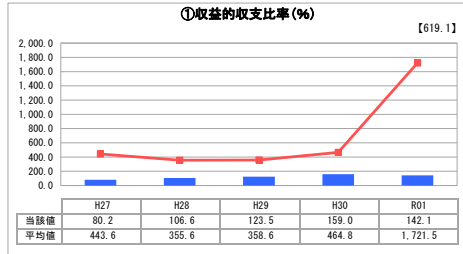
岐阜県瑞浪市 瑞浪市浪花駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	37	

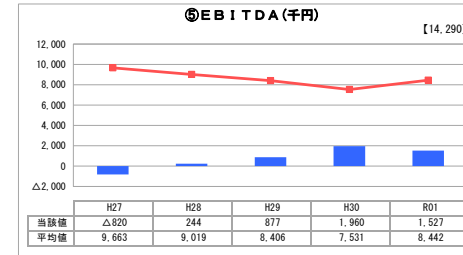
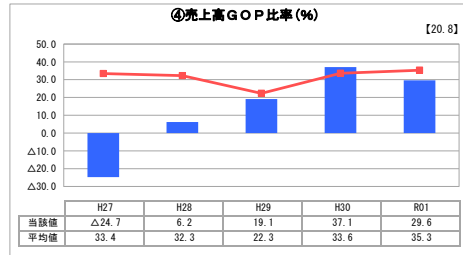
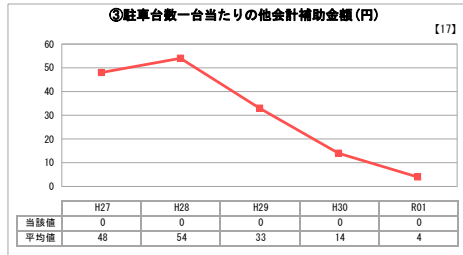
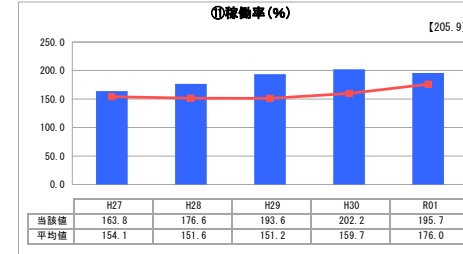
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	1,672
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
46	25	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

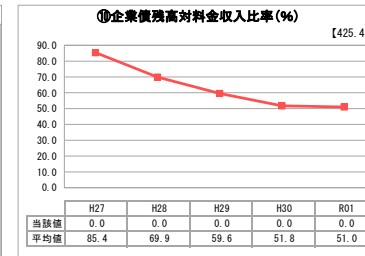


⑦敷地の地価 (千円)

88,524

⑧設備投資見込額 (千円)

9,500



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 平成26年度の料金改定以前は、駐車時間に対する駐車料金が他の市営駐車場（駅北駐車場）と比較すると高く、利用者が比較的少ない状態でしたが、料金改定以降、利用者数も増加し、『収益的収支比率』、『稼働率』ともに改善しています。『売上高GOP』及び『EBITDA』については、年々数値が改善されており、今後も一層の効率的な運用に努めます。

2. 資産等の状況について  
 駐車場管理設備等の再整備だけでなく、瑞浪駅周辺の再開発が検討される中で、市営駐車場の集約についても検討していく必要があります。

3. 利用の状況について  
 平成26年度の料金改定により、利用者がわかりやすく、利用しやすい料金体系となりました。平成26年度の料金改定以降は、稼働率は改善しており、類似施設平均値を超える値となりました。利用者の増加によって、『収益的収支比率』についても、平成28年度以降は100%を超える値となり、改善が図られました。

全体総括  
 『稼働率』は向上していますが、駐車場の維持管理に要する経費が依然として高い水準にあり、更なる経費の抑制が必要です。また、『稼働率』の水準が向上する一方で、『収益的収支比率』は、類似施設平均値と比較すると低い値となっています。3月以降はコロナ禍で収入が減少しているため、経費の削減を図るなど、計画的かつ合理的な駐車場の運営に努めます。